

# 令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

NPO 法人パラダイム

## 1 事業の成果

特定非営利活動事業として、学習支援活動を実施した。学習支援の名称を「学習支援塾パラダイム」と称して、県内の公共施設を利用して活動した。また、社会人や高齢者を対象としたリカレント教育に関する事業として、オンラインイベントである「Let's talk about SDGs!-持続可能な社会を考える-」を実施した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業名) 子どもの貧困対策事業

(内容) 無料の学習支援塾パラダイムを運営し、貧困層の子ども達に学習支援を提供する

(実施場所) 沖縄県浦添市内の公共施設またはオンライン  
浦添ぐすく児童センター ハーモニーセンター

(実施日時) 火・水・木・金・日 18:00~21:00

(事業の対象者) ひとり親家庭の小中学生や非課税世帯の小中学生

(収入) 16,000 円

(支出) 1,741,352 円

家庭の経済的な状況によって学習塾に通うことができない子ども達を対象に、無料塾「学習支援塾パラダイム」を実施した。活動内容と開催スケジュールは以下の通りである。

開催日時(小学生の部) : 主に毎週火曜と木曜、2週に1回のペースで日曜に実施

※火曜はオンラインで対応することもあった

上記曜日で18:00~19:30 または19:30~21:00、日曜は15:00~17:00

開催日時(中学生の部) : 毎週火曜と木曜

18:30~20:00

### 学習支援内容

小学生は主に社会性を育む目的で、算数と国語の学習指導を実施。従事するボランティアスタッフと共に30~60分は勉強し、残りの30分はボードゲームなどをして子ども達とボランティアスタッフの交流を図った。事業年度末時点での生徒数は4名で、小学3年生1人、小学2年生2人、小学生1年生1人という内訳である。保護者、子ども達共に大変満足していただいております、開催回数を増やせないかという声もあった。一方、課題として

は子ども達が中々集中して勉強せず、すぐに遊んでしまったり施設内で暴れたりすることが多々あり、ボランティアスタッフだけでまとめることが困難になってきている。次年度においては学習面だけでなく、本来の目的である社会性の成長を重点に置き、指導を行うことをミッションとする。

中学生は学力向上、自立性の向上を目的として学習支援を実施。学校の教科書に準じた学習指導を行っており、中間・期末テスト対策なども行った。指導者はボランティアスタッフであり、主に沖縄県内の大学生と高校生が中心となって運営を行っている。事業年度末での生徒数は8名で、中学3年生2人、中学2年生6人である。生徒の中には入塾以前よりも席次が上がった子もおり、十分な成果を上げられた。特に成果として誇れることとしては、子ども達が自立的に学習するようになったことである。事業開始当初は勉強する様子が全くみられず、90分の授業中の大半をお喋りなどで費やしてしまい、ボランティアスタッフの指導もあまり聞かないということがよく見受けられた。そのような課題を抱えつつも、子ども達一人ひとりと向き合い、根気強く指導を行った。その結果、90分内で集中する時間が徐々に増え、勉強に前向きになってきたのである。子ども達とボランティアスタッフとのコミュニケーションも良好になり、スタッフのやりがいも上がってきた。課題としては、学習機会の少なさを改善する必要がある。受験が間近に迫る中で学習支援の回数が週2回と頻度がまだまだ少ないため、その回数を多くしていくことが重要となってくる。

(事業名) 社会人や高齢者を対象としたリカレント教育に関する事業

(内容) Let's talk about SDGs!-持続可能な社会を考える-

(実施場所) オンライン

(実施日時) 2020年9月21日 18:00~19:30

(事業の対象者) 大学生

(収入) 0円

(支出) 0円

SDGsについて勉強会をする場をオンラインイベントで設けた。そのため、対象者は沖縄県内だけでなく、県外からも参加を募集した。主に大学生を対象として開催し、合計16名が参加した。新型コロナウイルス感染症が流行していたため、対面でのイベントは開くことができず、はじめてオンライン上でのイベントを行ったが事前準備が功を奏し、当日のイベントはスムーズに進行することができた。SDGsに対する知識を深め合い、学生同士の交流の場とも機能したイベントとなった。しかし、イベント時間が90分と短かったこともあり、それぞれのコンテンツに充実感が薄いというよう課題が上がった。参加者が16名と多く、大変需要のあるイベントであることは実感できたため、来年度課題を改善した上で第2回を開催したいと思う。

## (2) その他の事業

(事業名) 教育情報販売事業

(内容) 大学受験を控える受験生に対して勉強・進路のアドバイスや情報を提供

(実施場所) オンライン

(実施日時) 不定期

(事業の対象者) 高校3年生、浪人生

(収入) 352,835円

(支出) 0円

営利事業として教育情報販売事業を実施。主に受験での悩みをオンライン上で相談を受け、アドバイスや情報を提供するというサービスを提供し、対価を得た。本営利事業は、NPO 法人パラダイムの運営を行う上で必要な資金を維持するために実施している。